

食品接触材料安全センターメールマガジン No.57（2023年2月下旬号）を発行致しましたのでご覧ください。

■PL 制度における既存物質の再整理と PL 制度の改編について

PL 制度における既存物質の再整理と PL の改編について

2022年12月26日厚労省は、これまでに提出された意見を踏まえ、基材（第1表）の新整理案を HP に掲載しました。添加剤（第2表）については、年明けにも掲載されると予想されましたが、一部の作業が生じたため遅れが生じました。ここでは添加剤の新整理案を中心に状況をお知らせします。

一部の作業には、添加剤（第2表）の全体を対象に行われた定量構造活性相関（QSAR）等による一定の安全性確認作業があります。大部分は終了しましたが、一部の確認作業が残りました。また、ある種のポリマー添加剤については、添加剤と見なされるとともに塗布剤相当の用途であったため、基ポリマーを基材とする今回の PL 収載の妥当性が検討課題となりました。更に、ある種の添加剤については、その安全性を担保するため、特記事項の記載内容の在り方が検討課題となりました。

これらの検討が終了しないとき、添加剤（第2表）の新整理案は、一部を積み残したものになります。こうした積み残した物質に意見を提出した事業者は、その結果を待つとともに、引き続き意見の整理に協力を求められることにご留意ください。

また12月26日公表された基材（第1表）についても、その後の改訂作業を反映して、添加剤（第2表）とともに再度 HP に掲載される予定です。English site 掲載内容も更新されます。

全ての結果を踏まえ、4月頃開催される審議会部会に上程される基材（第1表）、添加剤（第2表）は、告示の形で示される予定であることにもご留意ください。

■食品接触材料安全センター2022年度事業計画について

食品接触材料安全センター2022年度事業計画

このコラムは、食品接触材料安全センターの2022年度事業計画をシリーズで紹介してきました。今回は適合確認業務の状況を紹介します。

主要な業務の一つに旧衛生協議会から承継した確認証明書の事業があります。まず旧ポリ衛協から承継した確認証明書（ポリ衛協型）（2022年12月31日現在13,976件）については、国PLに基づき確認証明書への切替再交付を進め、会員説明会において進捗状況を説明してその促進を図ってきました。また、ポリ衛協承継基準管理委員会において、承継基準のPLに関する審査を行い、添加剤の新規登録や改訂が検討されました。色材PLについても登録制度を運用し新規登録が行われています。このほか、確認証明書の信頼性を高めるため、定期検査による試験を実施しました。また確認証明書の業務の効率化を高めるため、データベースサーバーを更新しました。

旧塩食協の確認証明書（塩食協型）（2022年12月31日現在987件）について、同じく国PLに基づき書き換え作業を実施しました。JHP承継規格管理委員会において、JHP規格の一部改訂が検討されました。旧ビニリデン協の分野については、国PL及び区分の異なるポリマーの混合に対応したシステムのプロトタイプによる国PL適合確認のシステムの検討を行いました。

以上、旧衛生協議会の確認証明書については、会員全体のニーズから、国PLに基づく新たな仕組みの中で、引き続き活用することが有効と考えています。一方、国PLの対象範囲は確認証明書が対象としてきた範囲を超えているため、会員の多様なニーズに応えていくためには、従来の規程に当てはまらない案件に対応した新たな仕組み作りが必要と考えています。この新たな事業については、今後、改めて紹介して参ります。

■お知らせ

食品接触材料などに関する内外の動き

- 2月27日食品安全委員会「有機フッ素化合物（PFAS）ワーキンググループ（第1回）」

の開催について」

http://www.fsc.go.jp/senmon/sonota/annai/wg_pfas_annai_1.html

●2月7日韓国「環境部は、生産・消費・リサイクルの全過程で循環経済への移行を加速する」

<http://eng.me.go.kr/eng/web/board/read.do?menuId=461&boardMasterId=522&boardId=1578860>

●2月3日中国 WTO 通報「G/TBT/N/CHN/1715 過剰包装－食用農産物の規制要件」

<https://docs.wto.org/dol2fe/Pages/SS/directdoc.aspx?filename=q:/G/TBTN23/CHN1715.pdf&Open=True>

●2月13日国家食品安全基準審査委員会事務局「国家食品安全基準審査委員会事務局からの38の国家食品安全基準に関する意見募集に関する書簡（意見募集案）」

<http://www.nhc.gov.cn/sps/s7891/202302/a1d45c0ee4e64beaab96e039df2073cc.shtml>

「国家食品安全標準 食品接触材料及び製品 - 塩化ビニル、1,1-ジクロロエチレン及び1,1-ジクロロエタンの残留物及び移行量の測定」

「食品接触材料及び製品 フッ素移行量の測定」

「食品接触材料及び製品の添加物」(GB 9685-2016) 修改正リスト」

●2月13日中国商務部「業界標準「インターネット通販のグリーン包装技術及び管理規範」に対する意見募集（意見募集案）」

<http://www.mofcom.gov.cn/article/zwgk/gkgztz/202302/20230203384459.shtml>

●2月16日台湾環境保護署「「インターネットショッピング包装の利用制限対象及び実施方法」を決定」

https://doc.epa.gov.tw/IFDEWebBBS_EPA/ExternalBBS.aspx

●2月9～10日欧州委員会 DG Sante「植物動物食品飼料常設委員会(SC-PAFF)毒性安全部会食品接触材料作業部会アジェンダ」

https://food.ec.europa.eu/system/files/2023-02/cs_fcm_wg_20230209_agenda.pdf

プレゼン資料「食品接触材料 WG」

https://food.ec.europa.eu/document/download/27f543bc-67ff-4746-a057-ef5c27328d50_en?filename=cs_fcm_wg_20230209_handout.pdf

●2月27日欧州委員会 DG Sante「SC-PAFF 食物連鎖毒性学部会アジェンダ」

https://food.ec.europa.eu/system/files/2023-02/reg-com_toxic_20230227_agenda.pdf

A.02 PAFF 食品接触材料（FCM）WG の最新作業のフィードバック。

●2月16日欧州委員会「将来の概要：ナノプラスチック：知識の現状と環境及び人の健康影響 - 第27号」

https://environment.ec.europa.eu/publications/future-brief-nanoplastics-state-knowledge-and-environmental-and-human-health-impacts-issue-27_en

●2月1日欧州委員会「グリーンディール産業計画：ヨーロッパのネットゼロ産業をリードする」

https://ec.europa.eu/commission/presscorner/detail/en/ip_23_510

●欧州委員会「閣僚理事会規則(EU, Euratom) 2021/770 に従って、リサイクルされていないプラスチック包装廃棄物に基づく独自のリソースに関連する声明の様式を確立する xxx 付け欧州委員会施行規則 (EU) .../...」2023年2月1~14日

<https://ec.europa.eu/transparency/comitology-register/screen/documents/087865/1/consult?lang=en>

●2月7~9日 ECHA 「第81回加盟国委員会会合アジェンダ案」

https://echa.europa.eu/documents/10162/18249823/agenda_msc-81_en.pdf/eb1038a3-63ea-f6d3-4a22-9b7d050fa811?t=1674737317821

項目7 二酸化チタン関連ドシエ評価

●2月10日欧州議会「Fit for 55: 2035年に新車とバンのCO₂排出量をゼロに」

<https://www.europarl.europa.eu/news/en/press-room/20230210IPR74715/fit-for-55-zero-co2-emissions-for-new-cars-and-vans-in-2035>

●2月20日欧州環境庁（EEA）「ヨーロッパにおける循環型プラスチックへの道 - 国、企業、市民からの適正規範例」

<https://www.eea.europa.eu/publications/pathways-towards-circular-plastics-in>

「適正規範を拡大することで、プラスチックの持続可能性を高めることができる」

<https://www.eea.europa.eu/highlights/scaling-up-good-practices-can>

●2月13日フランス「フランスは、欧州レベルで二酸化チタンの発がん性が疑われる物質の分類を擁護し続ける」

<https://www.ecologie.gouv.fr/france-continue-defendre-classification-du-dioxyde->

[titane-comme-cancerogene-suspecte-au-niveau](#)

●2月12日 EurActiv 「EU の包装廃棄物法に描かれた戦線」

<https://www.euractiv.com/section/energy-environment/news/battle-lines-drawn-for-eus-packaging-waste-law/>

●Cefic 「Cefic の PFAS 制限に対する声明」

<https://cefic.org/media-corner/newsroom/cefic-statement-on-the-pfas-restriction/>

●2月14日カリフォルニア州 WTO 通報 「G/TBT/N/USA/1966 プラスチック含有量の報告とコンプライアンス」

<https://docs.wto.org/dol2fe/Pages/SS/directdoc.aspx?filename=q:/G/TBTN23/USA1966.pdf&Open=True>

●二酸化チタン製造業者協会 (TDMA) 「米国 FDA は、食品添加物としての二酸化チタンの安全性を再確認する」

<https://tdma.info/news/us-fda-confirms-the-safety-of-titanium-dioxide-as-a-food-additive/>

●カナダ 「カナダの飲料水中のパーフルオロアルキル物質およびポリフルオロアルキル物質の目標案：概要」

<https://www.canada.ca/en/health-canada/programs/consultation-draft-objective-per-polyfluoroalkyl-substances-canadian-drinking-water/overview.html>

●UNEP 「政府間交渉委員会第2回会合 INC-2」

<https://www.unep.org/events/conference/second-session-intergovernmental-negotiating-committee-develop-international>

セッション前の提出 加盟国のポジションペーパーおよそ 70 を掲載

詳細情報は、会員向けページ「安全衛生情報（月度発刊）」をご覧ください。

■■■ 食品接触材料安全センターメールマガジン 配信方法の見直しについて ■■■

日頃は食品接触材料安全センターメールマガジンをご愛読頂きありがとうございます。本メ

ールマガジンは、食品接触材料分野の最新情報を紹介することをメインに、センター会員への情報提供ツールとしてスタートしましたが、このたびメールマガジンの配信方法を見直し、メールマガジン No. 26 以降につきましては食品接触材料安全センター会員窓口の方に限定して配信させていただくことになりました。

これまで通りホームページにメールマガジンを掲載してまいりますので、会員企業におられる窓口以外の方、会員以外の方はホームページからご覧ください。

(<https://www.jcii.or.jp/publics/index/164/>)

ご不便をおかけしますが、ご理解のうえご協力頂きますようお願い致します。

食品接触材料安全センターでは、食品接触材料の PL 制度をはじめ法制度への問い合わせに幅広く対応しております。ご質問・お問い合わせなどございましたらお気軽にご連絡下さい。

<https://www.jcii.or.jp/publics/index/98/>

ー JCII の個人情報の取扱いに関しましては、JCII ホームページの“個人情報保護方針”をご覧ください。 (<https://www.jcii.or.jp/publics/index/9/>)

ー 本メールマガジンに関する問い合わせ・ご要望などございましたら是非お聞かせ下さい。
(info-fcmssc@jcii.or.jp)

今後ともご支援、ご利用を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

(発行)

一般財団法人化学研究評価機構 (JCII) 食品接触材料安全センター

〒104-0033 東京都中央区新川 1-4-1 住友不動産六甲ビル 7 階

Tel : 03-5244-9363 e-Mail : info-fcmssc@jcii.or.jp

URL : <https://www.jcii.or.jp/publics/index/65/>